

| 科目名 | 化学英語 B | 英語科目名 | English for Chemistry B |
|--|---|---------------------|-------------------------|
| 開講年度・学期 | 平成 23 年度・前期 | 対象学科・専攻・学年 | 物質工学科 5 年 |
| 授業形態 | 講義 | 必修 or 選択 | 選択 |
| 単位数 | 1 単位 | 単位種類 | 学習単位 (30 + 15) h |
| 担当教員 | 亀山雅之 | 居室 (もしくは所属) | 電気・物質棟 4 階 |
| 電話 | 0285-20-2801 | E-mail | kameyama@oyama-ct.ac.jp |
| 授業の達成目標 | 授業達成目標との対応 | | |
| | 小山高専の 教育方針 | 学習・教育 目標 (JABEE) | JABEE 基準 要件 |
| 1. 発音記号を見て英語の発音がわかること。 | | D - 1 E - 1 | a, b, d(2), f, g |
| 2. 英語のスペルを見て正しい発音ができること。 | | D - 1 E - 1 | a, b, d(2), f, g |
| 3. 正しいアクセントで発音できること。 | | D - 1 E - 1 | a, b, d(2), f, g |
| 4. 可算名詞と不可算名詞が区別できること。 | | D - 1 E - 1 | a, b, d(2), f, g |
| 5. 品詞の区別ができ、日本語訳もそれに応じてできること。 | | D - 1 E - 1 | a, b, d(2), f, g |
| 6. 主語と述語が分かり、日本語訳もそれに応じてできること。 | | D - 1 E - 1 | a, b, d(2), f, g |
| 7. 自動詞、他動詞の区別が付き、日本語訳もそれに応じてできること。 | | D - 1 E - 1 | a, b, d(2), f, g |
| 8. 現在、過去、未来のテンスの違いが理解でき、それに合わせた日本語訳ができること。 | | D - 1 E - 1 | a, b, d(2), f, g |
| 9. 関係代名詞が表す内容を具体的にすることができ、それを日本語訳の中で論理的に表現できること。 | | D - 1 E - 1 | a, b, d(2), f, g |
| 10. 化学英語 300 語を覚えること。 | | D - 1 E - 1 | a, b, d(2), f, g |
| 各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法 | | | |
| 達成目標 1 ~ 4 に対しては中間、期末試験の関連問題および課題の 60% 以上の成績で達成とする。 達成目標 5 ~ 10 に対しては期末試験の関連問題および課題の 60% 以上の成績で達成とする。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 原則として課題 40%、試験 60% (中間と期末の合計) の加重平均で算出する。 | | | |
| 授業内容 | 授業内容に対する自学自習項目 | | 自学自習時間 |
| 1. ガイダンス、単語テスト | 復習：単語テスト問題を再度回答する。 | | 2 |
| 2. 単語テスト、Easy Chemistry 13-15 | 予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。 | | 4 |
| 3. 小テスト 13-15、Easy Chemistry 16-18 | 予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。 | | 4 |
| 4. 小テスト 16-18、Easy Chemistry 19-21 | 予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。 | | 4 |
| 5. 小テスト 19-21、Easy Chemistry 22-24 | 予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。 | | 4 |
| 6. 小テスト 22-24、Easy Chemistry 25-27 | 予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。 | | 4 |
| 7. 小テスト 25-27、Easy Chemistry 28-30 | 予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。 | | 4 |
| 8. 中間試験 | 復習：中間試験問題を再度回答する。 | | 2 |

| | | |
|--|---|----|
| 9. 答案返却・解説、Easy Chemistry 31-33 | 予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。 | 4 |
| 10. 小テスト 31-33、Industrial Chemistry 34-36 | 予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。 | 4 |
| 11. 小テスト 34-36、Industrial Chemistry 37-39 | 予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。 | 4 |
| 12. 小テスト 37-39、Industrial Chemistry 40-42 | 予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。 | 4 |
| 13. 小テスト 40-42、Industrial Chemistry 43、Chemical Industry 44,45 | 予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。 | 4 |
| 14. 小テスト 43-45、Chemical Industry 46-48 | 予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。 | 4 |
| 15. 小テスト 46-48、Easy Chemistry 49-51 | 予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。 | 4 |
| ・・・・・・期末試験・・・・・・ | 復習：試験問題を再度回答する。 | 2 |
| 16. 答案返却・解説 | 復習：解説を基に試験問題を再度回答する。 | 2 |
| 自学自習時間合計 | | 60 |
| キーワード | 化学英語、発音記号、品詞、主語、述語、構文、解釈 | |
| 教科書 | 中村喜一郎、青柳忠克 共著「やさしい化学英語」(オーム社) | |
| 参考書 | 1. 千原ほか 編「化学英語の活用辞典」(化学同人) 2. 桜井 寛 著「化学英語用法辞典」(東京化学同人) | |
| カリキュラム中の位置づけ | | |
| 前年度までの関連科目 | 全ての英語関連科目および化学関連の基礎科目 | |
| 現学年の関連科目 | 卒業研究 | |
| 次年度以降の関連科目 | 物質工学専攻：ゼミナールⅠ, Ⅱ, Ⅲ | |
| 連絡事項 | | |
| 1. 予習および復習を必ず行うこと。 2. 理解が困難な場合は、そのつど質問すること。 | | |
| シラバス作成年月日 | 平成23年2月28日 | |